

不気味に迫るアメリカの対ロシア戦争

【訳者注】一触即発的な現状を、西側の民衆が知らないでいることを、プーチン自身を含め、多くの識者が憂慮し警告している。これはその一つだが、その深い歴史と現状の認識によって、我々は目を開かれるとともに、その真剣さに打たれるだろう。すぐれた小論文である。我々がこういうことを知らないのは、メディアが何も言わないからであるが、我々の教えられる歴史そのものが、アメリカ中心の歪んだ歴史だからでもある。

日本のメディアは、米政府と一体の“西側メディア”に追随し、この世界的な危機を、故意に我々に隠すという「逆サービス」をしているわけだが、彼らは本心ではどう思っているのか知りたいものである。例えば、この論文を読んでどう思うのか？ “忸怩たる思い”に駆られるのか、それとも「馬鹿々々しい話」「騒ぎすぎ」と本当に思うのだろうか？ もし後者なら、メディア業を即刻やめるべきである。ドイツの Udo Ulfkotte は、読者を裏切っていたことを恥じ、公衆の面前で腹を切ってやめた（2016/2/5 記事参照）。

Finian Cunningham

June 22, 2016



ロシア大統領ウラジミール・プーチンが、ますます増強される、米主導の NATO の、対ロシア侵略態勢を、ナチスドイツによるソ連への攻撃に例えたのは、見事な比較だった。

プーチンは今週、ロシアの国家院 (State Duma) への演説で、75 年前の 1941 年 6 月 22 日に、ナチ第三帝国が「バルバロッサ作戦」に乗り出したときのことを話した。

<http://sputniknews.com/russia/20160622/1041721844.html>

このナチスドイツの侵略は、3 千万人に及ぶソビエト市民が、あのファシスト軍に対して勝

利を得るために命を落とした、「大祖国戦争」につながっていったものだが、これは根底において、西側帝国主義による攻撃だった。プーチンが言ったように、この基本的な事実は、しばしば西側の歴史説明から省略されている。

ちょうどそのように、NATO がロシア国境で現在、行っている軍事増強——これが侵略でなくて何だろう？——の重大な意味は、あまりにもしばしば西側メディアから抜け落ちている。そして、その延長で、西側の一般大衆の理解からは、今展開している情勢がいかにも不気味なものであるかの認識が欠けている。

ロシアの歴史は、何世紀にも及んで、西洋の帝国主義列強が、ロシアをその脇腹から攻撃することによって屈服させようとした、試みとその失敗の事例に満ち満ちている。

プーチンが、アメリカ主導の軍事同盟による「増大する侵略」を、嫌悪すべきナチスのロシア侵攻と同じコンテキストで説明したのは、歴史的な前例を踏まえたものである。

ロシアに対する、この急増するアメリカ主導の侵略行動——それはミサイル装置の設置など、軍事力の増強だけでなく、虚偽の言いがかり、経済制裁、外交や対話の拒否などを伴う悪魔化や悪口の、挑発的な政治キャンペーンの形をとっている——は、ロシアに対する西洋の、好戦的な、長い不埒な伝統に見られるもので、その歴史は、中でも特に、フランス皇帝ナポレオン・ボナパルト、ドイツの総統アドルフ・ヒトラーに遡る。

このロシアに対する先天的な攻撃態度は、西洋の資本主義という経済制度の力学から来ており、それがまた、自然資源の私物化や、外国の隷属化のために必要な道具としての、帝国主義を生み出す。

もちろん、ロシアが西洋の侵略の唯一の目標ではない。しかし、地上で最大の国家で国土であるロシアが、今も、これまでも第一の目標だった。

あまり知られていない——少なくとも西側メディアでは——歴史の記録事実は、ナチスドイツが、ソビエト連邦を滅ぼすための代理軍として、米英の資本主義によって養育されたことである。その後、西側連合が、(戦局がほぼ決してから、功労者の) ソ連と結んでナチスドイツを滅ぼしたのは、単に、彼らのナチ攻撃犬が鼻づらをつかまれ、殺されようとしていたのを見た、西洋列強による、皮肉なダメージ・コントロール(被害を最小に抑える)の行動であった。

健全な歴史理解をしている人なら——西側で通っている麻酔をかけられた歴史理解でなく

——ロシアの西脇腹に突きつけられた、現在のアメリカ主導の軍事的脅しに、誰が平気でいられるだろうか？

ドイツの外相 Frank-Walter Steinmeier できえ、先週、かつて最大の NATO の軍事演習がポーランドで行われたのを、“戦争屋のやること”と弾劾した。いかにこれが憂慮すべきことであるか！ <http://sputniknews.com/europe/20160618/1041561238.html>

この警告が特に重大であるわけは、ワシントンと NATO 同盟国のいくつかが、西側のメディアでも大衆の間でも、全く議論されることなしに、この対決のアジェンダを押し進めているからである。プーチン大統領が指摘したように、**西側の人々が潜在的な地球的戦争の危険に気づかないでいるのは、彼らのメディアが現在の展開を正確に報道しないことによって、途方もない逆サービスをしているからである。**

NATO 軍が、ロシアとの全面戦争に一気に突入する可能性のある引火点は、いくらでもある。バルト海域、東ヨーロッパ、ウクライナ、南コーカサス地域、あるいは米戦艦が国際条約を破って侵入し続けている黒海。確かに、歴史的な前例は、この地理的区画を強く示唆している。

米大統領選挙が、民主党の論客であるヒラリー・クリントンに傾いていくとき、それはロシアとの関係にとって不吉な前兆となる。2009 - 2013 年に、第一次オバマ政権の国務長官として、米露の両方向関係を凍結させ、現在の地政学的テンションの道をつけたのは、クリントンであった。

更なる気がかりは、クリントンがペンタゴンのトップに据える可能性のある人物である。クリントンは、Michele Flournoy を、最初の女性防衛長官に任命するだろうと、しきりに噂されている。フラワノイ (56) は、有力なペンタゴンのインサイダーで、軍と CIA に密接なつながりをもっている。このコンビが、ロシアに対して、激しく好戦的なアジェンダを押し進めるのは確実と考えてよい。

つい先週のこと、フラワノイは、シリアにおける米軍の介入の増強を激しく要求した。彼女は、大人数の米軍を配置して、バシヤール・アル・アサド大統領のシリア政府を引き倒すのに、公然と武力を用いることを要求している。

オバマの下では、政権交代は、サウジアラビアや、トルコや、その他のいろいろなテロリスト軍団といった、代理軍を通じて行う隠れた企画であった。クリントンの下では、おそらくシリアの政権交代は、公然たる軍事目的になるだろう。

フラワノイは、シリアのロシア連盟軍を含め、アサドを撃つために、巡航ミサイルの使用を要求している。

「もしあなたが、我々の支援する人々を爆撃するなら、我々は遠隔手段を用いて報復し、ロシアの代理軍、すなわちこの場合、シリアの人的資産を破壊する」と彼女は、軍事サイト Defence One に話した。

フラワノイは、アメリカは、テロ集団と戦っているという見せかけを捨てて、直接、アサドをシリアの権力から退けるという努力をすべきだと言っている。

国際法と、シリアについての国連決議を堂々と破って、仮想の次期ホワイトハウス政権は、シリアに宣戦布告をしている。このような動きは、ロシアの戦略的利益に対する臆面もない攻撃であり、シリアのロシア軍への軍事攻撃を公然と計算している。要するに、ロシアとのより幅の広い戦争である。

中東が、アメリカのロシア攻撃の引火点になるかどうかは、何か月かしてみないと分からない。しかし一つのことは、現在、疑いの余地なく明らかだと思われる——ワシントンはずでに戦争の道を進んでいる。

ロシアに対するアメリカの戦争が、不気味に迫っている。アメリカとヨーロッパの人々は、政治的・社会的な反乱を示唆することによって、そのような結果を食い止めることができるかもしれない——必要なら路上に出て。なぜなら選挙の方法は、民主的な意志に反して、不正に操作されそうだからである。

75 年前の、ナチスドイツの、不幸なソ連邦への侵略の厳粛な記念日に、西側で、このような恐ろしい出来事がほとんど忘れられているように見えるのは、驚くべきことである。米主導の NATO 軍による、犯罪的な、無謀なロシア侵略は、西側における危険な、無知と無関心のしるしである。

ロシアは再び、西洋による侵略の、繰り返す歴史的パターンに直面している。プーチン大統領が、NATO の行動と態度を、歴史的なナチスによるソビエト・ロシアへの戦争と、同じコンテキストに置いたのは正しい。凡俗な西側のニセ情報に洗脳された者だけが、このような警告を“騒ぎ立てる”などと言うだろう。

西洋の資本主義的帝国主義という野獣が、再び、戦争を求めてよだれを垂らしている。位置

と位置が戦争のために連携している。そして確かに、シリアは最も危ないものの一つである——特に、ヒラリー・クリントンが総司令官の位置につくならば。

ロシアは、プーチンが国家院への演説ではっきり述べたように、屈することはないであろう。

しかしこの度だけは、どんな戦争になっても、かつて前例のない、核兵器の地球的な貯蔵庫を開く危険がある。この戦争は現実には、すべてを——我々の見知っている惑星そのものを——終わらせる戦争になるであろう。

平和と人類の名において、西側の民衆に重い責任がかかっている。それは、資本主義という野獣と、その怪物的双子である帝国主義を滅ぼすことによって、戦争屋システムを金輪際、終わらせる責任である。